

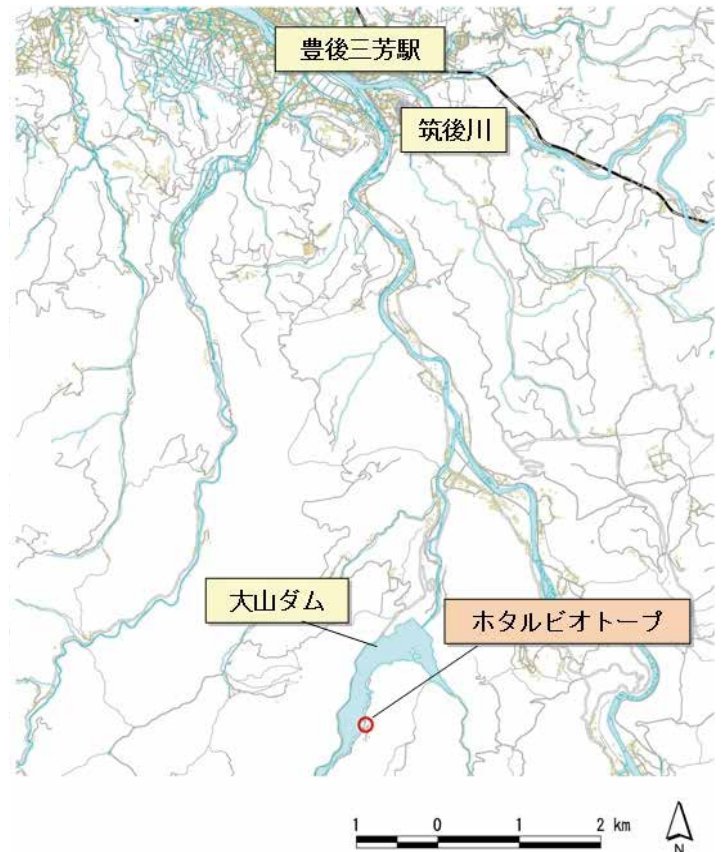
本取り組みは、大分県日田市大山町において2013年に完成した大山ダム建設に伴って実施された、約270㎡のビオトープ設置事業です。ダム建設地の日田市は昔からゲンジボタルの里として有名な地域であることから、地域への貢献や地元の子供達への環境教育の場づくりを目的に設置されました。評価された主なポイントは以下の通りです。

### 地域の資源を活用

植栽したエノキやツルヨシなどの植物は、大山ダムの周辺から移植しています。また小川の石積みには、工事で発生した現地の石を再利用しています。

### ホタルの生息環境づくり

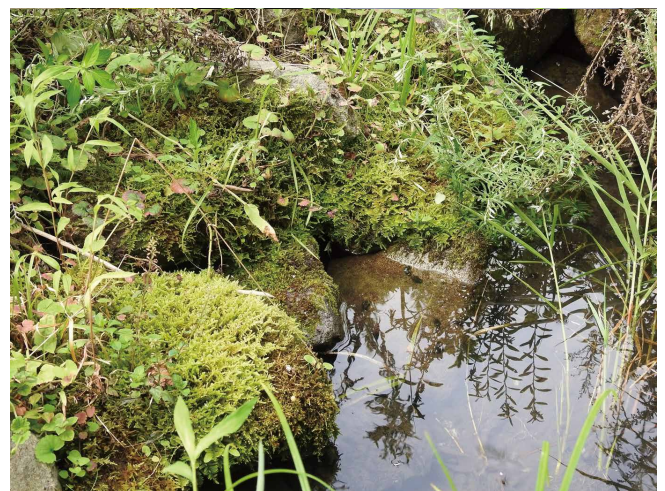
ゲンジボタルが生息できる空間を目指して、近くを流れる沢水を利用した小川と池が配置されています。ビオトープの完成後も植生の管理や水質のモニタリングを継続して実施しており、毎年ホタルの発生が確認されています。



評価対象事業の位置



池と水辺の植生



小川にはゲンジボタルの食物となる  
カワニナが生息